

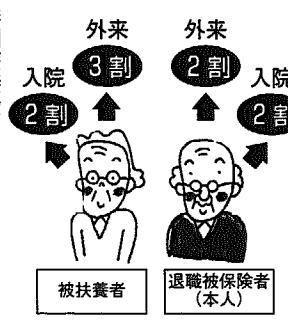
商業近代化資金 産業育成資金の金利等変更

黒埼町商工業近代化資金及び 黒埼町産業育成資金の貸付金利、貸付期間が次のとおり改訂されました。

Table with 2 columns: 黒埼町商工業近代化資金について, 黒埼町産業育成資金について. Rows include 設備資金7年以内, 引下幅, 融資限度額.

国民健康保険 退職者医療制度

長い間、会社や役所などに勤めて退職し、厚生年金や共済年金を受けている69歳以下の人とその被扶養者は、退職者医療制度で診療を受けます。



対象になる人 次の条件のすべてに該当する人とその被扶養者 ①国民健康保険に加入している人 ②老人保健制度の適用を受けていない人 ③厚生年金や各種共済組合などの老齢(退職)年金受給者で、その加入期間が20年以上あるか、40歳以降10年以上ある人 年金証書を受けたら届け出が必要

国保加入者のための学と遠の保険証

旅行などで長期にわたって家を離れるときは、修学のため家族と離れて生活をするときは、のしるしのついた保険証を発行します。有効期限はその保険証に書いてある日までですが、期限まえに必要がなくなつたときは、すぐに保険証をお返しください。

税の意見・要望は 国税モニターへ

国税モニターは、国税に対する納税者の意見・要望・苦情を収集し、税務行政の円滑な運営に資することとしています。税務署へのパイプ役としてお気軽にご利用ください。

新発田駐屯地44周年記念祭

陸上自衛隊新発田駐屯地では、駐屯地創設44周年記念祭を実施します。日時 5月11日(日) 午前9時～午後3時

女子学生の就職問題に関する特別相談窓口

新発田少年室 266-0047 入社を希望する企業が、募集・採用の手続きで女性の方が不利になっている場合、すぐにあきらめずにもう一度企業に働きかけてみましょう。そしてこれらの理由が「女性である」ということのみによると思われるのであれば、婦人少年室にご相談ください。

休日診療 診療時間…午前10時～12時、午後3時～6時

Table of weekend medical services. Columns: 5月の当番医, 5月3日(土), 5月4日(日), 5月5日(月), 5月11日(日), 5月18日(日), 5月25日(日).

5月の町税 納期限6月2日 固定資産税 国民健康保険税 軽自動車税 1期 1期 全期

告知板 皆さんの情報も掲載しますので、ご希望の方は連絡してください。締め切りは発行日の20日前です。

◎日時 ◎会場 ◎内容 ◎対象 ◎申込み ◎問い合わせ

新潟ふるさと村

- ◎5月のイベント案内
▽バザール館
○桐下駄実演販売…1日(木)6日(木)
○春の物産市…3日(土)5日(日)
○越後の伝統工芸展…9日(金)31日(日)
○桐下駄実演販売…17日(土)22日(木)
○ふるさと市…24日(土)25日(日)
▽アピール館
○小千谷市観光と物産まつり…1日(木)6日(木)
○ふるさと越後の家(体験棟)ふるさとお休み処(休憩棟)イベント広場
○子供たちの花遊び…3日(土)5日(日)
○新潟ふるさと村(☎230-3000)
◎5月の各種教室案内
星空ウォッチング ◎9日(金)

山野草の展示会

春の草花の展示やチャリティ即売会を行います。多数のご来場をお待ちしています。◎5月17日(土)午前9時～午後5時、18日(日)午前9時～午後4時 黒埼町環境改善センター 研修室◎主催 黒埼山野草会 ◎山際信夫(☎377-4169)

バスケットボール部員募集

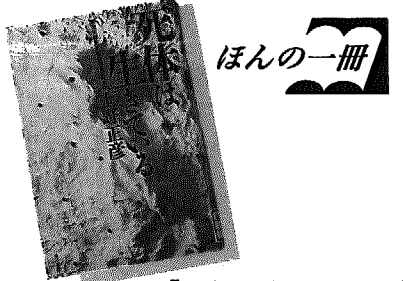
男女、年齢は問いません。◎毎月第1・第3金曜日午後7時～9時 黒埼町公民館◎講師 池端愛子先生 ◎阿部(☎377-3245)

朗読四季会員募集

いい作品と出会い、声を出して朗読を楽しみましょう。◎毎月第1・第3金曜日午後7時～9時 黒埼町公民館◎講師 池端愛子先生 ◎阿部(☎377-3245)

《人の動き》 3月末現在 (前月比) (前年同月比)

Table showing population movement statistics: 人口 24,833 (+33) [+544], 男 12,168 (+8) [+275], 女 12,665 (+25) [+269], 世帯 7,394 (+41) [+341].



「死体は生きている」 上野正彦著 角川書店 1990

東京都で30年間にわたり2万本にも及び変死体を検死・解剖をした経験を持つ著者のエッセイ。東京都監察医務院で院長を務めた著者は『死者の人権』という立場から、死者から学びとったことを正者に伝えるべく定年を待たずに退職し『死体は語る』という本を出版し、続編にあたるのがこの著書である。

著者の言う『死者の人権』とは、不本意ながら事故等で死んでしまった人々の無念さを事実を明らかにすることで晴らしたいということなのだ。犯罪が隠れていることもあるし、公衆衛生や予防医学の立場から、例えば、とがった傘の先が子供の目を貫通し脳にまで及んで死に至る事例から、子供の傘の先を丸くするようになったという話など、不慮の事故というのは防げるものもあるのだということをお知らせし、法医学というミステリーに出てくる派手なイメージがあるが、もっと地味な日常生活の延長上にある死を扱っている人たちがいるということは発見である。

エッセイという形をとっているの読みやすく、新聞の三面記事を読んでいるようなおもしろさがある。しかも興味本意ではない著者の誠実な目が見られる。その意味でも監察医制度の必要性を知ってもらい、制度を全国的に広げようという意図は成功である。単行本初版は1990年であるが、1996年11月文庫判で再版された。以前には見えなかったほんの数行の三面記事のもつドラマが見えるような気にさせる本です。(中山佳奈恵)